

2014年5月20日

日本版統合型リゾート（JIR）に対する国内外ビジネス層の意識調査
— 日本では7割以上がIR導入に賛成 —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、株式会社日経BP（本社：東京都港区、社長：長田 公平）と共同で、カジノ推進法案の国会への上程を受けて、日本版統合型リゾート（JIR）に対する意識調査を国内外約1,400人（日本、中国〔大陸：以下、中国と表記〕、香港、シンガポール）のビジネス層^{※1}にインターネットで2014年2月に行いました。

その結果、日本のビジネス層の70%以上がIR^{※2}の導入に条件付きで賛成^{※3}で、海外からの観光客の集客に役立つと考えていることが明らかになりました。

調査結果のハイライトは以下のとおりです。

- ※1 国内は日経ビジネスオンラインの読者で世帯年収500万円以上の有職者、海外は対象エリア在住の世帯年収が上位20%に属する有職者
- ※2 IR（統合型リゾート）とは、地域における様々な観光資源とカジノを複合開発し、機能補完させることで成立するリゾート施設
- ※3 条件付きとは、関連法制が整備され、透明・公正な運営と犯罪防止、青少年保護などが担保される施策を講じられることが前提となる。

【調査結果のハイライト】

- ① 日本でのIR導入の動きについての国内居住者の認知率は71.8%。
中国で77.0%、香港で62.0%、シンガポールで53.0%（図表1）。
- ② 国内居住者の61.2%がIRの導入に、非常に賛成、賛成もしくは、どちらかといえば賛成。
IRに関する詳細な説明後は、賛成と条件付きで賛成が73.3%に上昇。（図表2）
日本でのIR導入には海外からの要望も強く、IRに関する説明後の条件付き賛成は、香港で96.0%、中国で92.0%、シンガポールで85.0%（図表3）。
- ③ IRの導入に賛成する国内居住者が思うメリットのトップは、海外からの集客が見込めること（73.8%）。カジノの売り上げによる経済効果への期待も高い（59.7%）（図表4）。
一方、デメリットのトップは反社会勢力の介入（64.1%）（図表5）。

- ④ 香港、シンガポールのビジネス層は、90%以上が IR 利用経験者。
香港 98.0%、シンガポール 92.0%、中国 75.0%、国内居住者 46.4%（図表 6）。
- ⑤ 日本で IR が開業した場合の海外からの利用意向は強く、香港で 96.0%、中国で 84.0%、シンガポールで 78.0%。一方、国内居住者は 54.7%（図表 7）。
- ⑥ 日本の IR で利用してみたい施設は、国内居住者では 1 位がカジノ（74.5%）。また劇場やレビューなどの大人向けエンターテインメント（63.8%）やショッピングモール（56.2%）の意向も強い。
中国・香港は「ホテル・宿泊施設」、シンガポールは遊園地などのファミリー向けのエンターテインメント施設」が 1 位（図表 8）。
- ⑦ 日本の独自性を打ち出した IR を、中国で 55.0%、国内居住者で 52.8%が求めている。
香港、シンガポールは、海外で成功している国際型 IR（ラスベガスやシンガポールなど、海外成功事例を全面的に採り入れた IR）の意向がやや強い（香港で 61.0%、シンガポールで 59.0%が国際型 IR を志向）（図表 9）。
- ⑧ 国内居住者が選んだ日本版 IR にふさわしいと思う候補地の 1 位は「東京・お台場地区」（図表 10）。

【日本版統合型リゾート（JIR）に対する国内外のビジネス層の意識調査の概要】

- ・ 調査目的：「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案」（略称・カジノ推進法案）の上程を受けて、日本版統合型リゾート（JIR）に対する国内外のビジネス層の意識、認識の実態、ならびに JIR に期待するものを調査すること。
- ・ 調査方法：インターネット調査
- ・ 調査対象：＜日本＞日経ビジネス オンラインの読者で世帯年収 500 万円以上の有職者
＜海外＞対象エリア在住の世帯年収が上位 20%に属する有職者
- ・ 有効回答数：＜日本＞ 1,089 人
＜海外＞ 中国：100 人、香港：100 人、シンガポール：100 人
- ・ 調査期間：＜日本＞2014 年 2 月 12 日～28 日
＜海外＞2014 年 2 月 14 日～24 日
- ・ 調査機関：＜企画＞ 株式会社電通、株式会社日経 BP
＜実査＞ 株式会社日経 BP コンサルティング

IR に関する詳細な説明については、下記を設問途中で提示

統合型リゾート（IR）とは、合法のカジノを核として、ホテル、展示場などのコンベンション施設、ショッピングモール、劇場や遊園地などのエンタテインメント施設、文化施設、医療や美容・エステやマッサージなどの健康関連施設等が併設された、国内外のビジネス客、観光客、地元住民を集客できる複合型の観光・集客・商業施設を指します。

ラスベガス・マカオ・シンガポールの成功を受けて、アジアでは韓国、フィリピンが3年以内の IR 開業を目指している他、台湾、ベトナム、インドなどでも大型 IR 開業に向けた動きが活発化しています。

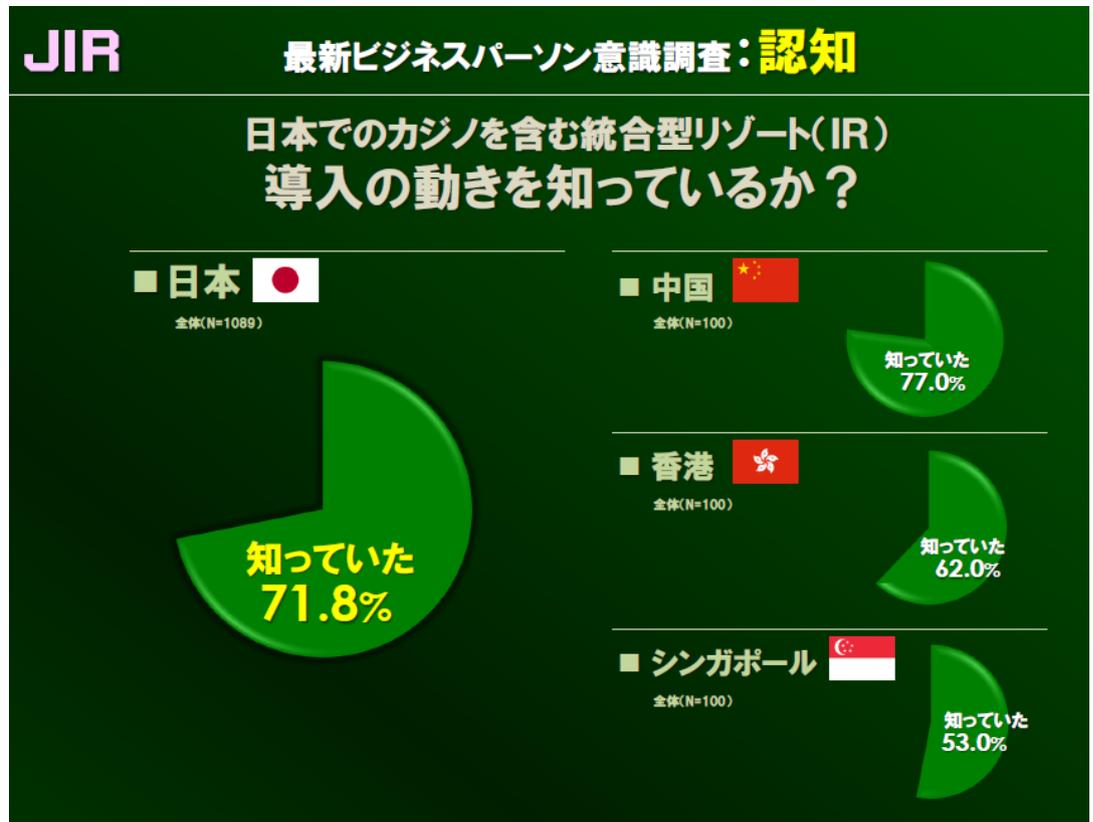
ゴールドマン・サックス証券の試算によると、東京に日本版統合型リゾート（IR）が実現した場合、総事業費は 800 億～約 1.1 兆円、年間売上高はラスベガスの約 5800 億円を超える約 7800 億円とするものもあります。建設候補地として全国 20 を越える自治体が名乗りを上げています。

【本調査に関する問い合わせ先】

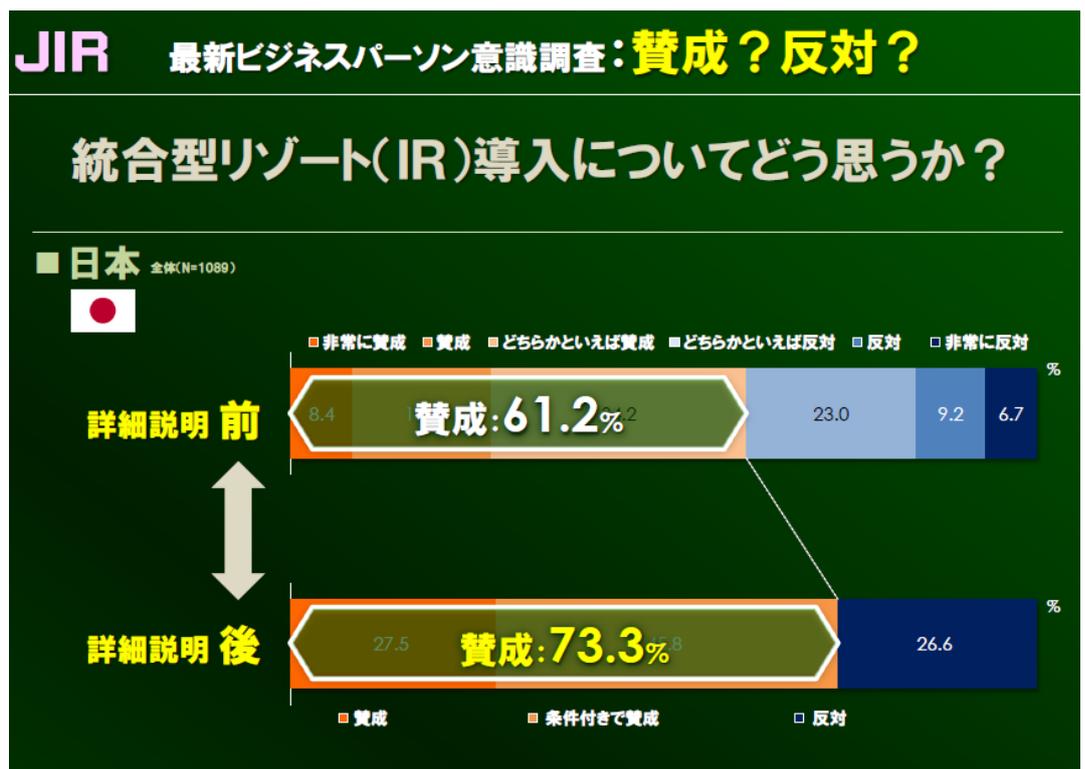
株式会社電通 ソーシャル・ソリューション局
岡部、青崎、山口 TEL：03-6216-8057

《参考資料》

図表 1.



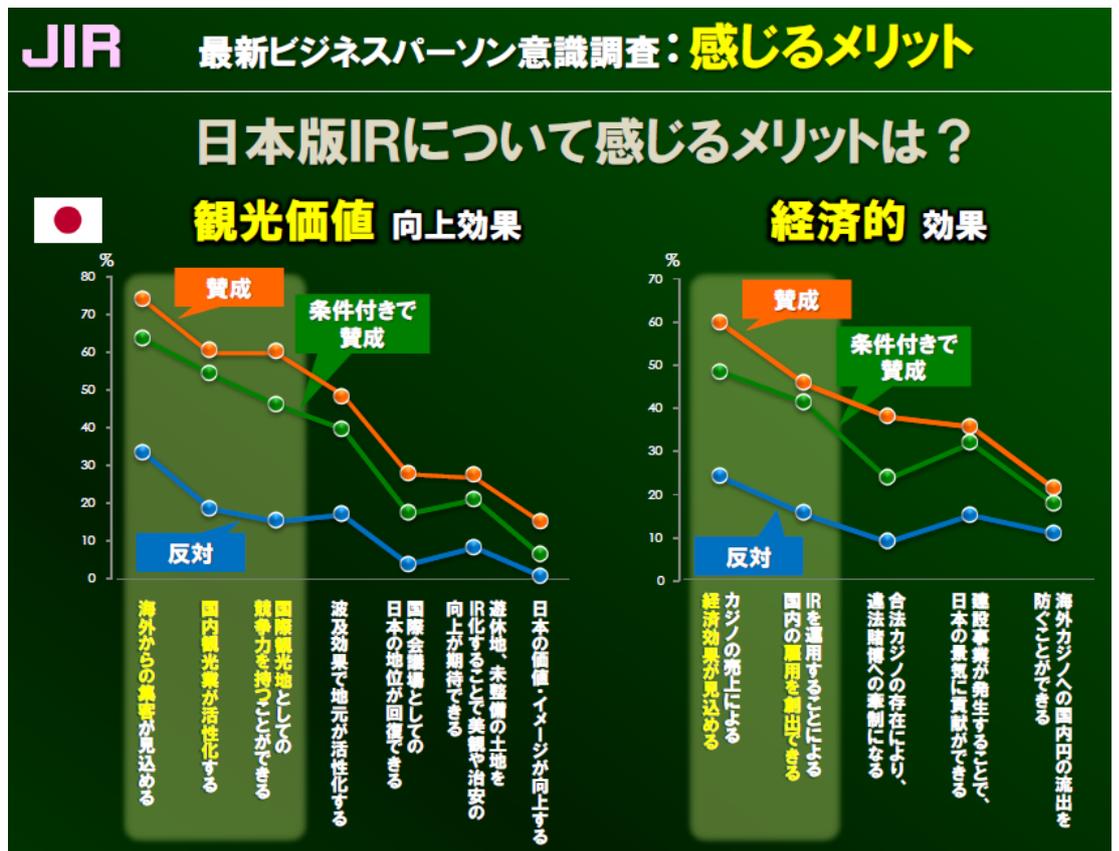
図表 2.



図表 3.



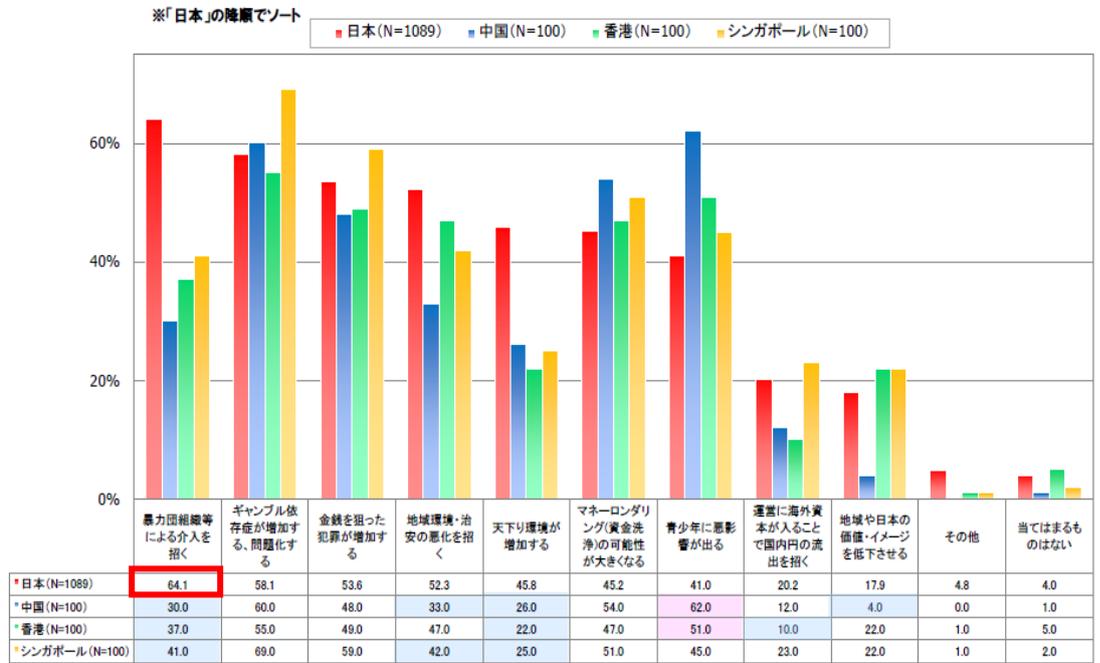
図表 4.



図表 5.

J I R に感じるデメリット

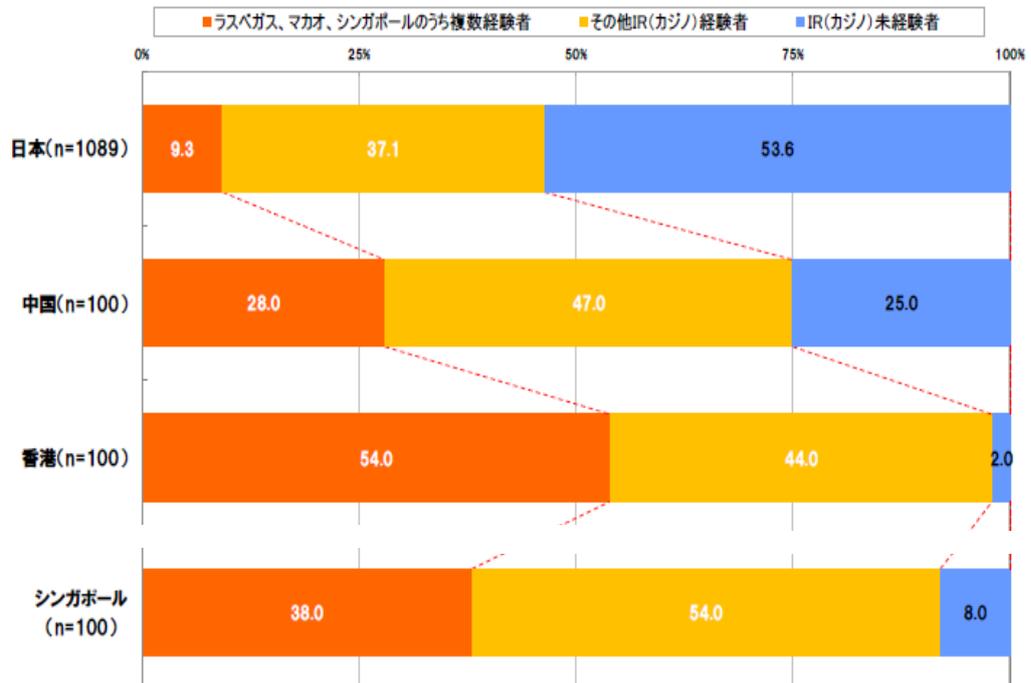
Q10. 日本版の統合型リゾート(IR)を推進する際のデメリットや懸念点はどのようなところにあると思いますか。当てはまるものをいくつかもお選びください。



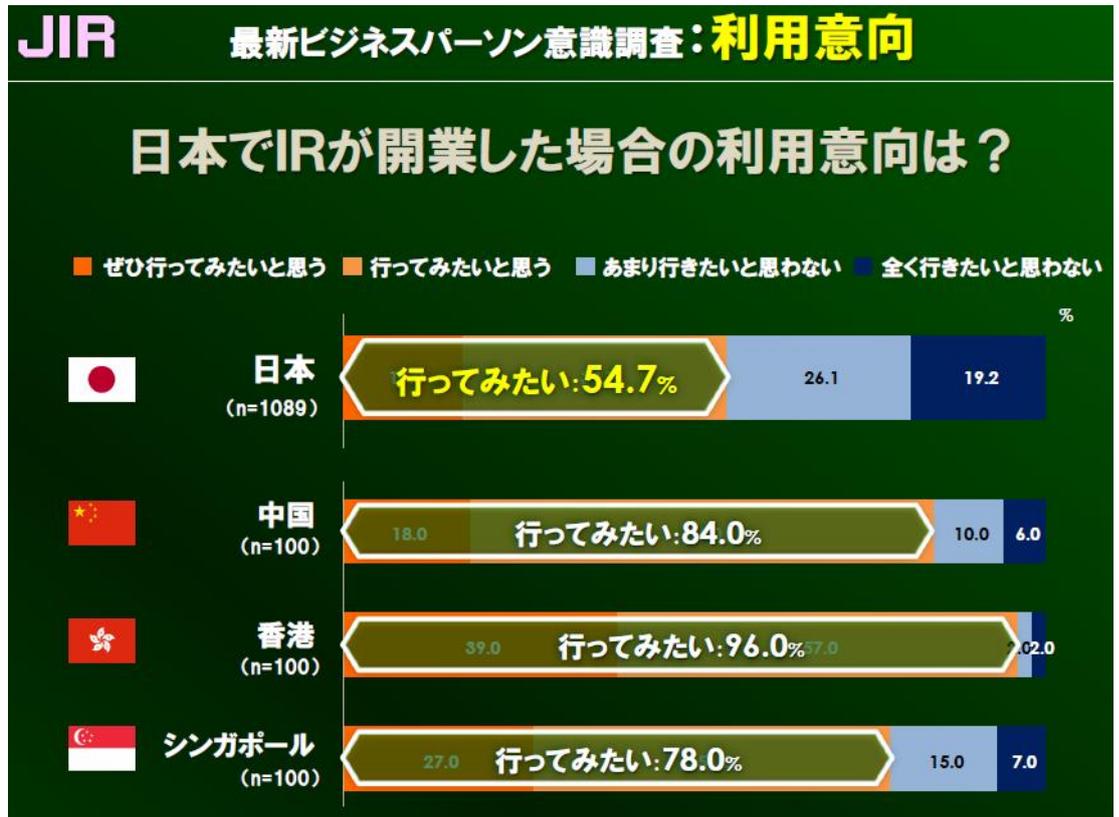
図表 6.

統合リゾート(IR)利用経験割合

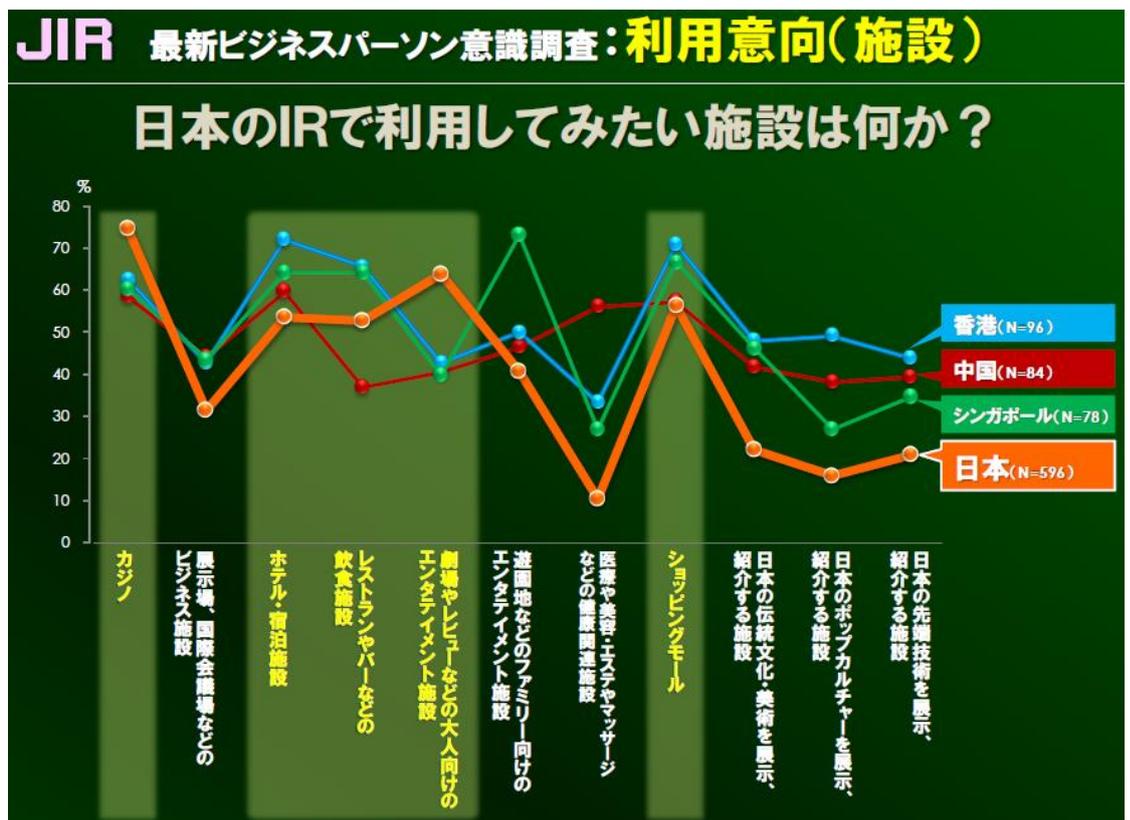
Q20. あなたはこれまでカジノを含む統合型リゾート(IR)を利用されたことがありますか。これまでカジノを含む統合型リゾート(IR)、もしくはカジノを利用された国・地名に当てはまるものをいくつかもお選びください。



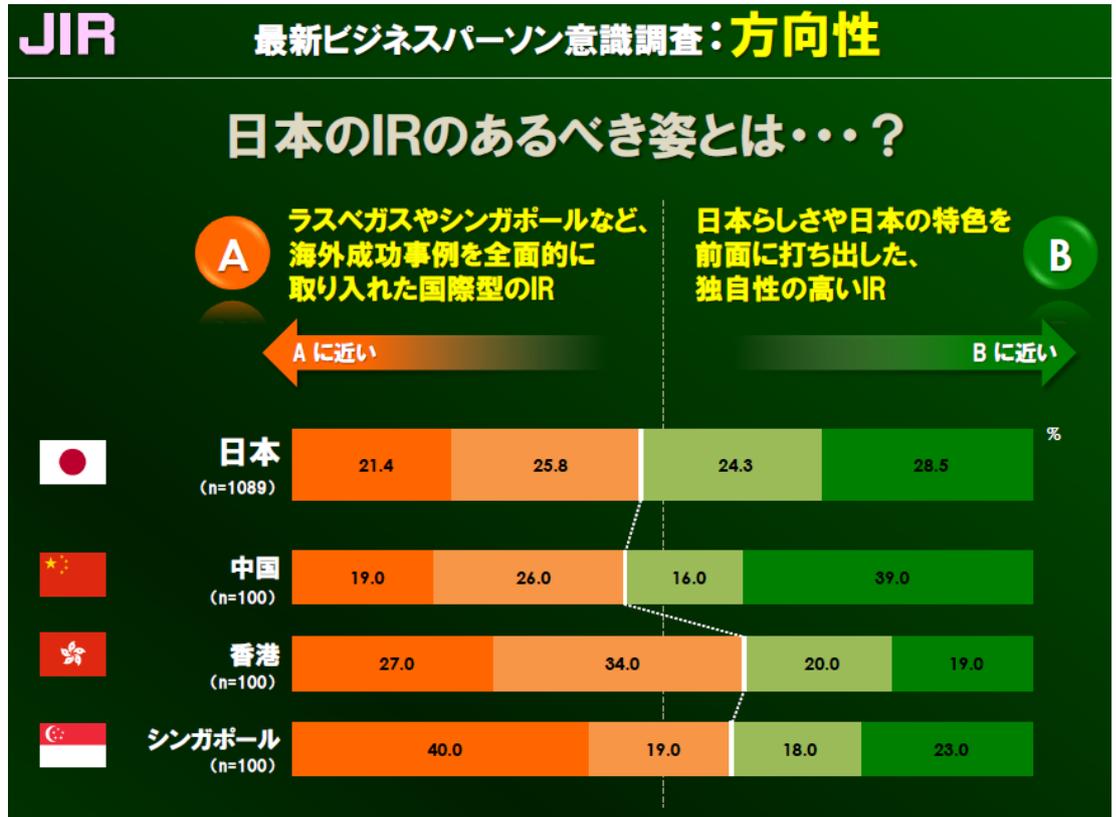
図表 7.



図表 8.



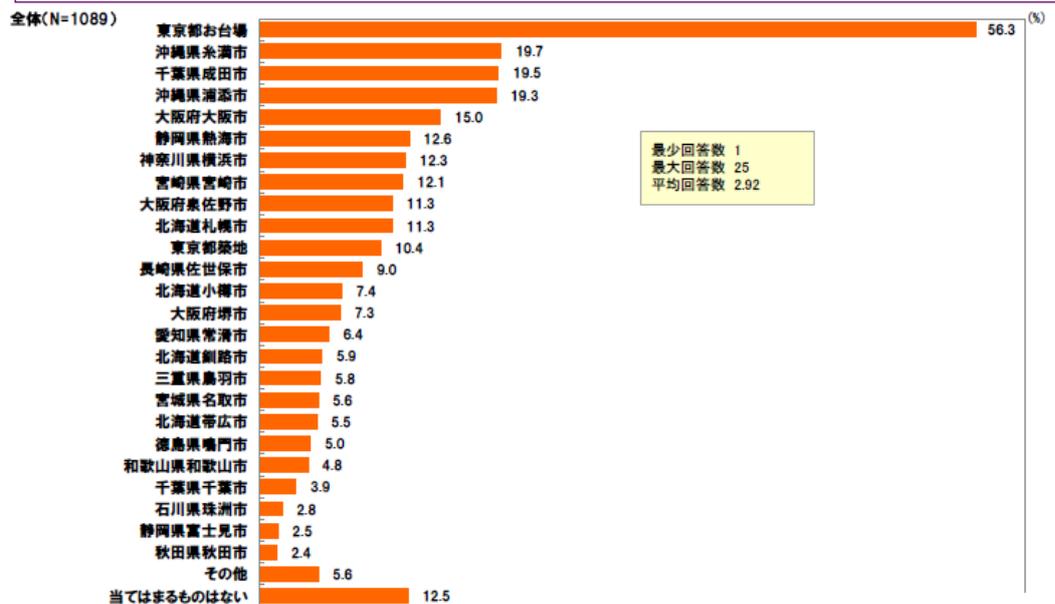
図表 9.



図表 10.

JIR にふさわしいと思う候補地(日本国内)

Q13. 日本版の統合型リゾート(IR)を建設するとしたら、以下の候補地の中でどこがふさわしいと思いますか。当てはまるものをお選びください。
 ※日本で統合型リゾート(IR)が作られても良いと思う数の分だけお選びください。



以上